

プレゼンテーション法 (2単位)

担当者氏名 中村幸人・矢口行雄・武生雅明・福永健司・上原 巖・菅原 泉・今富裕樹・小林 純・大林宏也・
江口文陽・宮林茂幸・関岡東生・佐藤孝吉

◆学習・教育目標

指導教員による指導内容および指導に要した時間数の記録を行い、研究発表(オーラルもしくはポスター)の方法を習熟する。所定時間、あるいは所定枠内に簡潔にまとめる能力、理解されやすい発表の組み立て方、図・表のわかりやすい表示の仕方を十分に習熟し、聴衆に理解してもらえるようにする。本人による研究発表が目標となるが、年に一度の専攻内での中間発表会もそのステップのひとつとなる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

 要旨作成 パワーポイント ポスター作成 口頭発表
 英語による発表

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	ガイダンス (第1週)	講義内容の説明	
2	講演要旨作成法(第2週)	簡潔明瞭な要旨の作成	
3	図表の作成法 (第3週)	分かりやすい図表作成	
4	パワーポイント利用法 (第4週)	パワーポイントの使用を習熟する	パワーポイントソフトの入ったパソコンを準備する
5	発表原稿の作成法 (第5,6週)	理解されやすい口頭発表原稿やポスター原稿の作成	大型印刷イメージプログラムの使い方
6	中間発表会の原稿, 要旨の作成 (第7~9週)	今までの基礎知識を元に中間発表原稿と要旨を作成する	
7	発表練習 (第10週)	発表と質疑応答の仕方を学ぶ	
	中間発表会(第11,12週)	修士論文に関する中間の発表を行う	
8	中間発表の問題整理 (第9	発表した内容について問題の整理	
9	13週)		
10	学会等への発表 (第14,15週)	発表に向けた要旨, 原稿を作成し, 発表練習を行い, 学会などで発表する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
担当教員より事前に周知する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
担当教員より事前に周知する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

発表手法の習得状況 (30点), 中間発表の内容 (50点)、学外での発表 (20点) で評価する。

◆その他受講上の注意事項

学内の中間発表会の結果を踏まえて, 学会など学外での発表を準備すること。